



やる気 根元

学校教育目標：心豊かでたくましく 心身ともに健やかな鳴鼓っ子の育成

時津町立鳴鼓小学校 学校だより 第 2 号

令和3年5月26日 文責：校長 村井 宏之

みんな笑顔で 心を一つに 最後まで あきらめない 鳴鼓っ子



五月二十三日(日)、気持ちのよい青空のもと「みんな笑顔で 心を一つに最後まで あきらめない鳴鼓っ子」をテーマに二年ぶりとなる運動会が開催されました。

感染者数が減り、保護者の方々にも参観していただけるのではと期待しましたが、県の感染段階がステージ5から下ならず断念せざるを得ませんでした。申し訳ございませんでした。

しかし、今年度は運動会ができたことだけでも、本当に良かったです。子供たちは、児童会で決めた約束をしっかりと守り、制限の中で精いっぱい力を発揮し、運動会を楽しむことができました。

一年生にとっては、初めての運動会。しかし、整列も上手で、このひと月半の成長を感じました。「パートナーを探せ」では、大好きな六年生に見つけてもらい、お尻タッチをして、笑顔で仲良くゴールしました。

二年生にとっても、初めての運動会。でも、一年生には負けられません。立派な態度で二年生らしさを見せてくれました。「折り返しリレー」では、全力でリングバトンを運びました。



三年生は、「やってみよう」のダンスで運動会を盛り上げました。笑顔で、のりのりのダンスは、見ている人全員を元気にしてくれました。

四年生の「2021なつみんピック」は、縄跳びに平均台と体育の学習が生かされました。併せて、先生とのじゃんけんやカードもあり、運も試されます。逆転を信じて最後まで走り切りました。

運動会の最後を飾るのは、鳴鼓小伝統の五・六年生による「ソーラン節」です。昨年は運動会で披露することができなかった「ソーラン節」。去年の六年生が伝統を絶やさすつなげてくれた「ソーラン節」。今年も六年生が五年生に動きとその魂を伝えました。気合のこもった演技はすばらしいものでした。毎回、真剣な子供たちの姿を見ると胸が熱くなります。

今年の運動会は白組の優勝で幕を閉じました。これまで十回以上連続で赤組が優勝しているうちに、十数年ぶりの白組優勝となりました。



運動会が終わり、子供たちの下校を見送っていたとき、二年生の女の子が「校長先生、運動会楽しかった。」と声をかけてくれました。他の子供たちも笑顔いっぱいでした。お家の人に見てもらえず、寂しい気持ちもあつたと思うのですが、充実した時間が過ごせたのだらうと感じました。改めて、授業だけでなく、運動会のような行事の大切さを強く感じました。子供たちは、人と関わり合い、物事をやり遂げることで、成長をするのだと思います。

米づくりが始まりました

鳴鼓小学校では地域の皆様のお力を借り、様々な栽培活動を行っています。子供たちにとって、貴重な体験となっています。四月には、ヒワの袋掛けや玉ねぎの収穫を行いました。

今年度は「米づくり」を再開します。三・四・五・六年生で作業過程を分担して米づくりを行います。

早速、五月十九日に三・四年生が種もみまきを行い、来月は、四・五年生が田植えをする予定です。収穫が楽しみです。



少人数学習熟度別学習

鳴鼓小学校では、四・五・六年生の算数科において少人数指導を行っています。個に合わせたきめ細かな学習を目指して、二学級を三グループに分け、担任二人と前野講師の三人で指導を行っています。習熟度別学習を基本とし、ゆっくりとしたペースで、確実に基礎を定着させていくコースを設定しています。今後、単元によっては、算数が得意な子供たちには、考え方にこだわった授業や発展的な学習が実施できればと考えています。

また、二・三年生は担任にプラス一名の教員が付き、チームティーチングで指導を行っています。教師の目が行き届き、個への対応ができるものと期待しています。

教科担任制に向けて

今後進むであろう高学年における教科担任制を見据え、今年度から、五・六年生では、担任が教科を交換して行う交換授業を行っています。具体的に言うと、A先生が同学年二学級の社会科を、そのかわりにB先生が同学年二学級の音楽科と図画工作科を指導しています。これにより教師は教科を絞って教材研究が行えるとともに、授業を通して隣の学級の児童と関わることもできます。加えて、理科、外国語科は専科が指導しており、

五・六年生は週に八時間以上、担任以外の授業を受けていることとなります。教科担任制となる中学校に向け、ギャップを吸収するよい移行期間になればと考えています。

全国学力学習状況調査・県学力調査

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で全国的な実施が見送られた全国学力学習状況調査が、今年度は六年生を対象に五月二十七日に実施されます。教科は国語と算数です。この調査は、「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。」「学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。」「そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。」「ことを目的として実施されます。

学校としては、点数に一喜一憂するのではなく、二番目の目的にあるように、この調査を実施することで、これまでの指導を振り返り、成果と課題を整理し、よりよい教育が行えるよう改善を図っていくことを大切にしていきたいと考えます。

五月二十七日は、同様の目的をもって、五年生を対象に県学力調査も実施されます。教科は国語と算数です。

今年度も水泳指導を中止します

町立小学校四校で協議した結果、様々な制限がある中では、十分な教育効果が得られるような指導を行うことは難しいと判断し、今年度も水泳指導は中止することにしました。子供たちの楽しみを奪うようで、心苦しくはありますが、ご理解ください。

六月の主な行事

- 一日(火)～三日(木) 玄関先訪問(十三時三十分下校予定) クラブ活動
- 八日(火) クラブ活動
- 十四日(月) 交通安全教室(高学年)
- 十五日(火) クラブ活動
- 二十一日(月)～二十五日(金) 鳴鼓っ子の心を見つめる教育週間
- 二十二日(火) 代表委員会
- 二十四日(木) ピースバトンによる平和学習
- 二十九日(火) 委員会活動

※一日～三日に予定している玄関先訪問は、保護者の皆様のご在宅であっても、顔合わせご挨拶のみとさせていただきます。ご了承ください。

※「鳴鼓っ子の心を見つめる教育週間」は、現在の感染状況を踏まえ、学校公開は行わないこととしました。これに伴い、当初予定した十九日の土曜授業、週中の授業参観・懇談会は中止します。しかし、この一週間は命に関する道徳授業を行ったので、SNSノートながさき」を活用した授業や「ピースバトンによる平和学習を行ったりする予定です。各学級の道徳の授業は配信を予定しています。